



ことばの力



からだの力



こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園

園長 太田友子

令和3年2月1日



「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

立春

- 春よ、来い！早く、来い！ -



早くも如月、厳寒の中にも、確かな春の訪れが感じられる今日この頃。園庭に植えたチューリップたちが小さな芽を見せてくれるようになりました。

さて、今、教職員とともに教育アンケートでいただいたご意見等を一つ一つ読ませていただいております。ご多忙の中、ご協力いただき、ありがとうございました。よりよい幼稚園に向けて頑張ります。

いつでも・しっかりと「できる」へジャンプ！

この一年で子どもたちのできることがたくさん増えてきました。靴を履く、衣服の着脱、排泄(トイレ)をはじめ、話を聴く、椅子に座る、並ぶなどなど、数え上げたらきりがなくらい目覚ましい成長を見せてくれました。しかし、できたりできなかつたり、きちんとできなかつたりと、まだまだ不完全な状態が続いています。

3学期の始業式には 11 クラスを巡ってお話しました。

「1月」「2月」「3月」の次は？と尋ねると、「4月！」「そう、4月には年中さん！です。」「うわあ」と歓声があがりました。「この「1月」「2月」「3月」の間には、「いつでもできる」「しっかりできる」ようにしましょうね。」と話しました。



生活の基礎となる場面はお家でもたくさんあるので意識して「いつでも」「しっかり」できるように声掛けをしてあげてください。

また、子ども自身が「気付いたことに気付く」ことは、教育学の世界でも今大変重要視されています。気付いたことを大人との対話によって言語化することで、これまで経験と関連づけて「深い学び」へと、自分の変容(成長)に気付いて「大きな自信」へと、子どもの内面を支える力となります。

毎日のちょっとした大人の言葉かけが、子どもの育ちを確かなものへ導くのですね。

「いちばんのしあわせ」



私には5歳児男児の孫がいます。娘(ママ)から次のような報告がありました。

(孫) : 「はあ～、夜がもつと、もお～つと長かったらなあ・・・」

(ママ) : 「なんで？」

(孫) : 「だって、ママと居れる時間長くなるやん。」

(ママ) : 「可愛いこと言ってくれるね！ありがとう！ほんまに可愛いなあ。けど、孝太郎、知ってた？夜ママとくっついて寝ている時間の方が長いんやで～。(時計を見ながら)寝ている時間9時から6時やろ？ほら！9時間もくっついてるねんよ。だから保育所行ったとき、ママと離れていても寂しくないやろ？寝ている間ずっとギューっとくっついてるもん。」

(孫) : 「わあっ！ほんまやあ！」
「ギューってしてお布団入っているときがいちばんしあわせ～」
<1分後にはいびきが・・・>

保育所が大好きで元気いっぱい育ててくれますが、その成長の源は何といっても「肌のぬくもり」ですね。毎日チャージしてもらっています。また、「時計」も理解できるようになったことでより確かな「安心」「納得」を得ることができたようです。

さて、子どもへのチャージの方法には、「肌」だけでなく、「手」「目」「心」にもあるといわれています。

<子育て4則>



1. 乳児はしっかり肌を離すな。
2. 幼児は肌を離せ、手を離すな。
3. 少年は手を離せ、目を離すな。
4. 青年は目を離せ、心を離すな。

私も仕事との両立を言い訳にして？何とか子育てをしてきましたが、今振り返ると、「幸せな時間」があったとしみじみ懐かしく思い出します。

保護者の皆さまは、今子育て真最中で本当に大変だと思います。

心からエールを送りたいと思います！

